

● 政権交代、東日本大震災、原発事故、日中逆転など ○三年〜十七年

ロシア語の外語の友の訃報次ぐ　ロシア民謡歌いし仲間

(新読書社長の伊集院俊隆、元東外大教授飯田規和君ら)

富士霊園花爛漫の春の日に　名和家(妻の実家)の墓に久闊を叙す

こんなこと滅多にないぞ投票日　長蛇の列は政変の予感

(二〇〇九年八月三〇日投票、民主党圧勝、政権交代)

民主党政権取りしその夜は　妻と二人でステーキ食らう

加藤さん竹中君らわが友よ　日吉で挙げる乾杯の至福

(メルマガ・オルタ主宰の加藤宣幸さん、元江田ブレインの竹中一雄さん)

「わが同志」と呼ばれて十年若返る　県日中の若き事務員

(神奈川県日中友好協会。事務員は低賃金のボランティア)

中国へ上から目線いつまでか　中国すでに日本追い越す

(二〇一〇年、GDPで中国日本を抜き、世界二位へ)

中韓へ小役人根性の日本人　歴史認識国の命(いのち)ぞ

(日本の侵略を百年は忘れないと鄧小平は言った。朝鮮植民地化も同じだ)

わが論文中国誌に載りたるは　がん病む友の翻訳なりき

(会員配布の雑誌『領導者』に二回ほど論文が載った)

反中の嵐に抗し弁ずれば 「目からうろこ」と聴衆の声

(某市民講座で「様変わりする世界の中の日本と中国」を話す)

三一一この大揺れにビル群軋み 悲鳴上げつつ人逃げ惑う

(川崎市産業興財団のあるビル群の前で大震災に遭う)

ビル群より飛び出せし人ビル前の 広場を埋めて身動きできず

三一一電車は不通川崎より 徒歩にて日吉二十三時着く

フクシマの原発メルトダウンせば 関東一円人は住めざり

(三月十三日、深刻事態に陥る)

菅直人宰相にあらず活動家 公約破棄で政権潰す

百薬の長なり毎日ウオーキング 妻との歩距離日々に広がる

大教室企業家精神説くわれの 受講者すべて孫の年齢

(十七年十一月八日、多摩大趙教授の依頼で「地方自治の理念と実践」で特別講義)

KSP 創立三十周年で挨拶す 長洲精神改めて説く

(二〇一六年十二月、KSP ホールにて)

これもまた健康長寿の功德なり 三十周年祝賀の乾杯の音頭